

2025年（4月，10月）入学・進学
山口大学大学院東アジア研究科

後期3年博士課程

学生募集要項
（一般・進学）

**Application Procedure for Admission to
The Graduate School of East Asian Studies,
Yamaguchi University
April, October 2025 Enrollment**

山口大学大学院東アジア研究科
〒753-8514 山口市吉田 1677-1

**The Graduate School of East Asian Studies, Yamaguchi University
1677-1, Yoshida, Yamaguchi City
753-8514, Japan**

**Tel: +81-83-933-5597, Fax: +81-83-933-5514
E-mail: eastasia@yamaguchi-u.ac.jp
<http://www.eas.yamaguchi-u.ac.jp>**

本研究科が求める学生像

1. 東アジアで活躍できる指導的高度専門職業人を目指す人
2. 東アジア地域に関心を持ち、深く理解したい人
3. 研究意欲があり、自ら研究課題を探索し、自立的に研究を遂行する能力を身につけたい人

Admissions Policy

1. We seek applicants who aim to be leading professionals with a high level of expertise in fields related to East Asia.
2. We evaluate candidates for admission who have a deep respect for and understanding of the regional characteristics of East Asia.
3. We are particularly interested in strongly motivated, creative students who possess a high degree of competency to carry out independent research based on their predetermined plans.

教育訓練給付制度について

本研究科は平成 25 年度以降の入学生を対象に、厚生労働大臣指定の教育訓練給付講座として認定されました。

教育訓練給付制度とは、本研究科を修了後に、住所を所轄するハローワークに教育訓練給付金の支給手続きを行うことにより受講生本人が支払った経費の 20%に相当する額（上限 10 万円）が、給付金として支給される制度です。

◇支給対象者

教育訓練給付金の支給対象者（受給資格者）は、次の①又は②のいずれかに該当する者です。

①雇用保険の一般被保険者

厚生労働大臣が指定した教育訓練の受講開始日において、雇用保険の一般被保険者である者のうち、支給要件期間が 3 年以上ある者。

②雇用保険の一般被保険者であった方

受講開始日において一般被保険者でない者のうち、一般被保険者資格を喪失した日（離職日の翌日）以降、受講開始日までが 1 年以内であり、かつ支給要件期間が 3 年以上あった者。

※支給要件期間（被保険者であった期間）

失業保険をもらえる期間を計算するために用いる期間。働いている期間・年数のこと。途中で離職していた場合でも、離職日から 1 年以内に再び雇用保険の被保険者になった（就職し、働き始めた）場合には、それ以前の期間も通算される。

詳細は、ハローワークにてお問合わせください。

なお、教育訓練給付制度についての詳細は、厚生労働省の HP をご確認ください。

厚生労働省 HP（教育訓練給付制度）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

山口大学大学院のアドミッション・ポリシー

山口大学は「発見し・はぐくみ・かたちにする 知の広場」を理念に、地域の基幹総合大学及び世界に開かれた教育研究機関として、たゆまぬ研究及び社会活動並びにそれらの成果に立脚した教育を実践し、地域に生き、世界に羽ばたく人材の育成に努めます。

そのために、次のような学生の入学を求めています。

● 求める学生像

- 高度な理論的・実践的研究を遂行するために必要な知識・技能及び意欲をもつ人
- 研究成果を実践の場で応用・展開できる人
- 豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を備えた人

● 入学者選抜の基本方針

山口大学の教育理念及び各研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、山口大学大学院の教育を受けるにふさわしい能力・適性などを備えた入学者を受け入れるために、各研究科が求める能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

各研究科入試で重視するポイント

◎：強く重視して評価する ○：強く評価する

研究科名 課程 専攻科名	選抜内容	高度な理論的・実践的研究を遂行するために必要な知識・技能	研究成果を実践の場で応用・展開できる能力	豊かな人間性と高度な倫理性、社会性を兼ね備
人文科学研究科 修士課程 人文科学専攻	筆記試験	◎		
	口述試験	◎	○	○
教育学研究科 修士課程 学校臨床心理学専攻	筆記試験	◎		
	口述試験	◎	○	○
教育学研究科 専門職学位課程 教職実践高度化専攻	筆記試験	◎		
	口述試験	◎	○	○
経済学研究科 修士課程 経済学専攻/企業経営専攻	筆記試験	◎		
	口述試験	◎	○	○
医学系研究科 医学博士課程 医学専攻	筆記試験	◎	○	
	口述試験	◎	○	○
	出願書類			
医学系研究科 博士前期課程 保健学専攻	学力検査	◎	○	
	面接	◎	○	○
	出願書類			

研究科名 専攻科名 課程	選抜内容	高度な理論的・実践的 研究を遂行するた めに必要な知識、技能	研究成果を実践の場 で応用・展開できる能 力	豊かな人間性と高度 な倫理性、社会性を兼 備
医学系研究科 博士後期課程 保健学専攻	学力検査	◎	○	
	面接	◎	○	○
	出願書類			
創成科学研究科 博士前期課程 基盤科学系専攻	学力検査	◎		
	面接	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 地球圏生命物質科学系専攻	学力検査	◎		
	面接	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 機械工学系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 建設環境系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 化学系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 電気電子情報系専攻	学力検査	◎		
	口述試験	◎	○	○
創成科学研究科 博士前期課程 農学系専攻	学力検査	◎	○	
創成科学研究科 修士課程 山口大学・カセサート大学国際連携農学 生命科学専攻	学力検査	◎	○	
	面接	○	○	○
創成科学研究科 博士後期課程 自然科学系専攻	口頭試問	◎	○	○
創成科学研究科 博士後期課程 システム・デザイン工学専攻	口頭試問	◎	○	○
創成科学研究科 博士後期課程 環境共生系専攻	口頭試問	◎	○	○
創成科学研究科 博士後期課程 物質工学系専攻	口頭試問	◎	○	○
創成科学研究科 博士後期課程 ライフサイエンス系専攻	口頭試問 出願書類	◎	○	○
東アジア研究科 博士課程 東アジア専攻	学力検査	◎		
	論文審査	◎	○	
	口述試験	◎	○	○
技術経営研究科 専門職学位課程 技術経営専攻	面接	◎	◎	○
共同獣医学研究科 博士課程 獣医学専攻	筆答試験	◎		
	口述試験	◎	○	○

山口大学大学院東アジア研究科（博士後期課程3年）の2025年4月（第1回）および10月（第2回）入学者／進学者の募集を次のとおり行います。

I 募集人員

コ ー ス	一般・社会人・外国人留学生・進学
アジア比較文化コース アジア経済・経営・法律コース アジア教育開発コース	10名

II 出願資格

（ ）内：第2回出願者期日

一 般	次の各号のいずれかに該当する者
社 会 人	次の各号のいずれかに該当し、大学卒業後4年以上または大学院修士課程修了後2年以上の社会人経験を有する者 ただし、この場合、夜間・夜間主コースの大学及び大学院、昼夜開講制の大学院に在籍した期間は社会人経験に含めます。
外国人留学生	次の各号のいずれかに該当し、日本国籍を有しない者で、かつ永住資格を有しない者
進 学	2025年3月（9月）に本学大学院各研究科修士課程、博士前期課程または専門職学位課程を修了見込みの者

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者または2025年3月末日（9月末日）までに取得見込みの者
2. 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または2025年3月末日（9月末日）までに授与される見込みの者
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または2025年3月末日（9月末日）までに授与される見込みの者
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者または2025年3月末日（9月末日）までに授与される見込みの者
5. 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6. 文部科学大臣の指定した者
（本要項「Ⅷ 出願資格の認定について 1」を参照してください。）
7. 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月末日（9月末日）までに24歳に達する者
（本要項「Ⅷ 出願資格の認定について 2」を参照してください。）

III 出願手続

1. 出願期間

4月入学・進学（第1回）	2024年12月23日（月）～2025年1月6日（月）
10月入学・進学（第2回）	2025年 5月26日（月）～6月2日（月）

(1) 受付時間は、午前8時30分から午後5時15分までとします。土曜日、日曜日及び祝日は除きます。

(2) 郵送による場合は、最終期日午後5時15分必着

2. 出願方法

入学志願者は出願書類を取りまとめ、本研究科宛に提出または郵送してください。郵送する場合は、必ず書留速達郵便で郵送してください。

3. 提出先（郵送先）

〒753-8514 山口市吉田1677-1

山口大学大学院東アジア研究科（山口大学経済学部大学院係）

4. 出願書類等

出 願 書 類 等	摘 要
(1) 入学（進学）願書	本研究科所定の用紙
(2) 写真票・受験票・あて名票	本研究科所定の用紙
(3) 履歴書	本研究科所定の用紙（様式1）
(4) 修士課程または専門職学位課程成績証明書	出身大学の長または研究科長等が証明したもの
(5) 修士課程または専門職学位課程修了（見込）証明書	修了見込証明書が発行されない場合は在学証明書
(6) 修士論文及び修士論文要旨、または研究レポート（各3部）	<p>修士論文には出願時審査中または審査予定のものを含みます。修士論文要旨は日本語または英語で作成し提出してください。日本語の場合は2,000字程度、英語の場合は800語程度で記述してください。</p> <p>なお、修士論文以外に論文や学術講演等の研究成果がある場合は、発表・公表内容を示す別刷り・写し等を提出することができます。</p> <p>修士論文のない場合は、今までの研究成果を取りまとめた研究レポートを提出してください。この場合、日本語の場合は8,000字程度、英語の場合は3,200語程度で記述してください。</p> <p>本研究科所定の用紙を表紙としてそれぞれの最上部に貼付して提出してください。（様式2）</p>
(7) 研究計画書	<p>本研究科所定の用紙（様式3） 事前に希望教員と相談のうえ、作成し、提出してください。</p> <p>東アジア研究科の紹介は下記のリンクで閲覧できます。 https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eas/examination/index.html</p> <p>教員の連絡先については、下記にお問い合わせ下さい。 山口大学経済学部大学院係 eastasia@yamaguchi-u.ac.jp</p>
(8) 受験票送付用封筒	<p>本研究科所定の封筒に、本人の住所・氏名・郵便番号を記入してください。（切手不要） ※進学者は不要</p>
(9) 検定料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の用紙に、必要事項を記入の上、最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）で山口大学指定の口座へ払い込んだ後、ゆうちょ銀行（郵便局）から受け取った振替払込受付証明書（お客さま用）を、入学願書裏面の所定の欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、出願書類を受理した後は、下記（注）①～③を除き、いかなる理由があっても払い済みの検定料は返還しません。</p> <p>注）次に該当した場合は、納入済みの検定料を返還しますので、山口大学経済学部大学院係に連絡してください。</p> <p>①検定料を納入済みであるが、山口大学に出願しなかった場合 ②検定料を誤って二重に納入した場合 ③出願書類等を提出したが、出願が受理されなかった場合</p> <p>検定料振込用紙は郵送しますので、経済学部大学院係まで連絡ください。</p> <p>※本学からの進学者は検定料不要です。</p>
(10) 外国語能力を証明する書類（ある場合のみ）	英語検定合格証書、TOEIC・TOEFLのスコア通知書、日本語能力試験合格通知書または日本留学試験における「日本語」の成績通知書等の写し
(11) 外国籍を証明する書類（外国人のみ）	在留カードの写しまたはパスポートの写し

(12) 国費外国人留学生証明書 (国費外国人留学生のみ)	在学する大学等発行の証明書
(13) 教育方法特例適用申請書 (教育方法の特例適用を希望する社会人のみ)	本研究科所定の用紙 ※教育方法の特例 (文部省令 大学院設置基準第14条) 大学院の課程においては、教育上特別の必要があると認められる場合には、夜間その他特定の時間または時期において授業または研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができます。

IV 選抜方法

入学者・進学者の選抜は、修士論文または研究レポートの審査、口述試験、成績証明書等の提出書類を総合して行います。外国語能力試験または専門科目試験を課す場合は、その結果を選抜の判定に加えます。

1. 論文審査

修士論文または研究レポートについて審査を行います。

2. 口述試験

専門領域、修士論文または研究レポート、研究計画書の内容について実施します。

3. 外国語能力試験及び専門科目試験

入学後の教育研究に必要な外国語能力及び専門分野の能力について、筆記試験を次のとおり課す場合があります。

なお、修士論文または研究レポートを審査の上、外国語能力試験及び専門科目試験を課す場合は、受験票送付時に通知します。

V 試験期日及び試験場

1. 試験期日

第1回／4月入学・進学	2025年2月5日（水）または2月6日（木）のいずれか
第2回／10月入学・進学	2025年7月2日（水）または7月3日（木）のいずれか

詳細な日時は、受験票送付の際にお知らせします。

2. 試験場

山口大学経済学部（山口市吉田1677-1）

VI 合格発表及び入学手続

1. 合格発表

第1回	2025年3月5日（水）正午
第2回	2025年8月1日（金）正午

山口大学経済学部玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者本人宛に郵送で通知します。
不合格者に対する通知は行いません。

また、東アジア研究科ホームページにも合格者の受験番号を掲載します。（13時頃）

ホームページアドレス <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eas/index.html>

なお、電話その他による可否の問い合わせには応じません。

2. 入学手続

入学手続に必要な書類は合格発表後に送付します、合格者は次の期日までに入学手続をしてください。

第1回／4月入学者	～2025年3月13日（金）
第2回／10月入学者	～2025年9月1日（月）

VII その他

- 身体に障害のある入学志願者で、受験上・修学上の配慮を希望する場合、希望する対応等を記載した相談書（様式次ページ）をⅢ 提出先 まで提出のうえ相談してください。

(1) 相談書に記載する内容

① 氏名, 性別 ②郵便番号, 住所, 電話番号 ③最終出身学校名 ④志望専攻・コース名, 希望指導教員氏名 ⑤障害の種類・程度 ⑥受験上希望する具体的対応 ⑦修学上希望する具体的対応 ⑧本学大学院における生活状況等（主として授業関係） ⑨その他 ⑩添付書類（医師の診断書, 身体障害者手帳（写）（交付を受けている者）, その他相談する際に必要と思われる参考資料

(2) 相談書の提出期限

第1回：2024年11月15日（金）

第2回：2025年4月4日（金）

（A4サイズの手紙にて作成してください。）

(様式)	令和 年 月 日
山口大学 副学長（教育学生担当） 殿	
	フリガナ 氏名 性別 住所〒 電話番号 最終出身学校名
事前相談書	
山口大学大学院に入学を志願したいので、下記のとおり事前に相談します。	
記	
1. 志望する研究科・専攻（専修、コース等）及び入試種別	
2. 希望指導教員名（希望があれば記載）	
3. 障害の種類、程度	
4. 受験上の配慮を希望する事項	
5. 修学上の配慮を希望する事項	
6. 大学等における生活状況等（主として授業関係）	
7. その他	
8. 添付書類	
<input type="checkbox"/> 医師の診断書（写し可）または障害者手帳の写し ※配慮の根拠を示す書類として、いずれかを必ず添付してください。 日本語または英語の診断書を推奨します。	
<input type="checkbox"/> その他相談する際に必要と思われる参考資料	

2. 不明な点は下記まで問い合わせてください。

E-mail：eastasia@yamaguchi-u.ac.jp 電話：083-933-5597

3. 出願書類等に記載事項の記入もれや誤記がある場合は、受理しないことがあります。

出願手続後は、書類の返却及び記載事項の変更は認めません。

なお、出願書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。

4. 上記入学手続期日までに入学手続が完了しない者は、入学を辞退したものと取り扱います。

5. 入学時の必要経費

(1) 入学科（入学手続き時納付） 282,000円（予定額）

(2) 授業料（入学後に納付） 前期分 267,900円（予定額）

後期分 267,900円（予定額）

***進学者は入学科不要**

- (注) ① 本募集要項公表後、2025年度入学者に係る入学料、授業料の改定を本学として決定した場合は、改定後の額となります。また、既に納入されていた場合は、改定額との差額を納入していただくこととなります。
- ② 在学中の授業料の納付は、入学手続き時に郵便局へ提出する授業料口座振替依頼書（入学手続き書類とともに郵送します。）に基づき、ゆうちょ銀行（郵便局）の学生（または学資負担者）名義の貯金口座から自動的に引き落とし、大学に納付することとなります。
- ③ 授業料は、在学中に授業料改定を行った場合、新授業料を適用します。
授業料は、入学後に授業料の納付期間中に納付することとなります。
引き落とし日は、前期分が5月、後期分が11月のそれぞれ末日です。（月末日が土曜日、日曜日及び休日にあたる場合は、その前の平日です。）
- ④ 入学料及び授業料の納付が困難な者に対しては、それぞれ免除する制度があります。この制度により、入学料及び授業料の免除を希望する者は、下記へ問い合わせてください。

山口大学学生支援部 学生支援課 学生サービス係 〒753-8511 山口市吉田 1677-1 電話（０８３）９３３－５１６４・５１６５

VIII 出願資格の認定について【一般入試等】

（ ）内：第2回出願者期日

1. II 出願資格6による認定

「文部科学大臣の指定した者」とは、次のとおりです。

- ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を履修した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本学研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

2. II 出願資格7による認定

「本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2025年3月末日（9月末日）までに24歳に達する者」の審査対象は、大学の卒業者と、これに準ずる国内外の各種教育施設の修了者等で、かつ、学術著書（単著）、学術論文（単著）において修士論文と同等以上の価値が認められる研究業績を有する者としてします。

3. 入学資格審査について

(1) 入学資格審査方法等

入学資格審査では、上記学校等での学習内容、卒業（修了）後の教育機関、研究機関及び企業等においての実務・研究内容並びに著書、学術論文、学術講演、学術報告等を審査します。

入学資格審査において「修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」は本研究科への出願資格を認めます。

(2) 入学資格審査申請手続

入学資格審査を受けようとする者は、次のVIII 4. に記載する書類を一括して2024年11月15日（金）（2025年4月4日（金））までに山口大学大学院東アジア研究科（山口大学経済学部大学院係）に提出してください。

(3) 入学資格審査結果通知

入学資格審査の結果は、2024年12月6日（金）（2025年4月25日（金））までに本人宛に通知します。

4. 「Ⅱ 出願資格 6 及び 7」による認定申請のための提出書類等

提出書類等	摘 要
(1) 入学試験出願資格認定申請書	本研究科所定の用紙 (様式 4)
(2) 履歴書	本研究科所定の用紙 (様式 1)
(3) 修了 (卒業) 証明書	最終学校の長または学部長等が作成したもの
(4) 学業成績証明書	最終学校の長または学部長等が作成したもの
(5) 研究業績書	本研究科所定の用紙 (様式 5) を使用し, 学術著書 (単著), 学術論文 (単著) など具体的な活動状況を示す資料を添付してください。
(6) 研究歴証明書	A 4 判の用紙 (縦置き横書き) を使用し, 学校等卒業 (修了) 後の教育機関, 研究機関及び企業等における調査研究等を記載したものを所属機関の長が証明したもの

出願書類等については, この東アジア研究科一般選抜入学試験において必要なため提出いただくものであり, これによって得た個人情報を, 独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条第 2 項に規定されている場合を除き, 出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用または第三者に提供することはありません。

○東アジア研究科について

東アジアは多様な言語、文化、宗教をもつ国・地域から成り、長い歴史のうちに育まれた固有の地域的特性をもっています。世界の経済・社会の構造変動に伴って、グローバリゼーションが進む一方で、その地域的固有性が顕在化し、そこに摩擦も生じる結果となりました。とりわけ、1990年代後半に生じた金融摩擦を契機とする東アジア諸国の経済的・政治的混乱は、多くの社会的経済的課題を表面化しました。東アジアの動向の世界に及ぼす影響が、人類の明日を示唆する重要な問題を内包しているといえます。

山口大学の地理的環境と研究の蓄積及び国際交流の経験に基礎を置き、東アジアの地域特性に対する深い理解を基盤として複眼的な視野と柔軟な思考力のもとに、問題解決のための高度な専門知識を発揮しうる人材の養成、指導の高度専門職業人の養成を東アジア研究科は目的としています。

○東アジア研究科の特徴

- ・研究課題や研究科修了の進路に応じたコース制を採用

コース名	養成する人材	進路例
アジア比較文化コース	アジアの歴史・文化・社会について内的共感的に理解しうる人	公務員、大学・高校教員、研究所員、外国語教員、翻訳者、ジャーナリスト、学芸員、国際協力機関の職員、NGOの担当者、企業経営者、企業の戦略立案者
アジア経済・経営・法律コース	地域特性や社会経済を深く理解し専門的知識に裏打ちされた柔軟で粘り強い思考力を持ち、現実生起する様々な問題の解決に尽力できる人	
アジア教育開発コース	アジア地域の研究・教育交流によって教育問題を認識し、解決のために理論的、実証的研究のできる人	

- ・演習を中心とした複数の教員による支援体制のもとに教育課程を編成

問題意識を触発し、広い視野の下で研究の方向づけを与えるための特別講義、問題を複眼的に捉えられるよう、関連する教育研究領域の複数の教員によるジョイント・セミナー方式で運営される基盤演習、複数の教員を交えたワーク・ショップ型授業で展開されるプロジェクト演習、学位論文作成のために行われる研究指導としての特別研究により、問題解決のための実践的な演習を中心とした教育課程を編成しています。

主指導教員の他、副指導教員を置き、きめ細かい指導を行います。研究の計画に即して逐次成果をプロジェクト演習で報告させ、複数の教員による助言を継続的に受けることにより、学位論文に必要な能力・知識を確実に蓄積します。

- ・外国語でのコミュニケーション能力を保証

東アジアでの活躍を期待するためには、コミュニケーションの能力が不可欠なので、語学能力が不十分な学生に対して、外国語及び日本語の言語コミュニケーション授業を設けています。

*修了要件単位には不算入

○課程修了について

東アジア研究科の博士課程を修了するためには、3年以上在学し（休学期間を除く）、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上、学位論文の審査及び最終試験に合格しなければなりません。

ただし、在学期間については、当研究科が研究業績において特に優れていると認めた場合、1年以上在学（休学期間を除く）すれば足りるものとしています。

なお、博士課程を修了した者には、博士（学術）の学位が授与されます。

1. 修得単位数

博士課程修了までに修得しなければならない単位数は、以下に示す単位を含む13単位以上です。

特別研究	6単位
研究者行動規範	1単位
基盤演習	2単位
プロジェクト演習	2単位
特別講義	2単位

2. 学位論文

博士課程修了の要件を満たす見込みがつき、学位論文の審査を受けようとする者は、予備審査の申請をして、学位申請資格を承認された後、学位の申請を行わなければなりません。

学位予備審査を申請するためには、原則として2年次に学位論文作成計画書を提出し、研究科教授会において承認を得る必要があります。

学位論文作成計画書が承認された者は、年に2回開催される準備論文報告会において報告を行う必要があります。

○長期履修学生について

「長期履修学生」とは、職業を有している等の事情により、標準修業年限（3年）を超えて、一定の期間（4年または5年）にわたり計画的に教育課程を履修し修了することが認められた学生です。

「長期履修学生」となることを許可された学生は、標準修業年限（3年）を超えて、一定の期間（4年または5年）にわたり計画的に教育課程を履修することが認められた期間（以下「長期履修期間」という。）において、標準修業年限（3年）分の授業料を納めることにより修学することができます。

◎申請資格

- (1) 職業を有する者
非常勤（パート、アルバイト）の場合、週20時間以上勤務している者を含む。
自営業及び家事労働に従事する者も含む。
- (2) 育児を行う必要がある者
3歳に満たない子を養育する必要がある者
- (3) 親族の介護を行う必要がある者
要介護者と同居している必要はない。
- (4) その他特別な理由があると認められた者

※長期履修学生に関する詳細は、下記までお問い合わせ下さい。

山口大学大学院東アジア研究科（山口大学経済学部大学院係） 〒753-8514 山口市吉田1677-1 TEL：083-933-5597 FAX：083-933-5514 E-mail：eastasia@yamaguchi-u.ac.jp

Application Guidance 2025 (April, October) Enrollment

We shall hold the screenings twice a year.

I. Number of Admissions

East Asian Studies	• Asian Comparative Culture Course • Asian Economy, Management and Law Course • Asian Education Course	Students, Working Students, International Students, Higher Education
		10

The term Students designates those who meet the application requirements, defined in II below.

The term Working students designates those who meet the application requirements (defined in II below), and have worked for at least four years after graduating from university or at least two years after receiving a Master's degree. For the purposes of determining "four years after graduation," the periods in which applicants were enrolled in evening classes at a university or graduate school are to be counted.

The term International Students designates those who meet the application requirements (defined in II below), who do not have Japanese nationality and/or certification as a Japanese permanent resident.

II. Application Requirements

(Applicants who apply the 2nd period shall refer to the schedule in parenthesis)

Those who resides meet any of the following are eligible to apply. Those who:

1. Have obtained or expected to obtain a Master's degree from Japanese institutions by the end of March (September), c .
2. Have obtained or expected to obtain a Master's degree or its equivalent from institutions outside Japan by the end of March (September), 2025.
3. Have taken course works in Japan through (remote education) offered by foreign institutions, and have obtained or expected to obtain a Master's degree or its equivalent by the end of March (September), 2025.
4. Have finished courses of the educational institutions in Japan approved as having foreign graduate school in their education system, and as having been approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Government of Japan, and have obtained or expected to obtain a Master's degree or its equivalent.
5. Have completed postgraduate programmes and received a degree equivalent to a Master's Degree from United Nations University or those who are scheduled to receive such degree by the end of March (September), 2025.
6. Are approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Government of Japan. (See VIII. 1)
7. Are approved (by individual certification process) by the Graduate School of East Asian Studies, Yamaguchi University, as having academic abilities equivalent to those who hold a Master's degree or its equivalent, and have reached age of 24 by March 31, (September 30), 2025... (See VIII. 2)

III. Application Procedure

1. Application Period

1st Period	December 23 (Mon.), 2024 - January 6 (Mon.), 2025
2nd Period	May 26 (Mon.), 2025 - June 2 (Mon.), 2025

For those submitting application documents by hand, please be aware that the Admissions office is open from 8:30 to 17:15.

By mail, it must arrive at 5:15 pm on the final date.

2. Application Process

All application documents must be submitted, in the prescribed envelope, to the admissions office. Mailed applications must be delivered by Registered Post.

3. The documents must be sent to the admissions office at the following address:

The Graduate School of East Asian Studies (Faculty of Economics), Yamaguchi University
1677-1 Yoshida, Yamaguchi -shi, 753-8514, Japan

4. Application Documents

Document	Details
(1) Application Form for Admission	The form provided by the Graduate School is required.
(2) Photograph Card, Examination Card and Mailing Address Card	The forms provided by the Graduate School are required.
(3) Curriculum Vitae/Résumé	The form provided by the Graduate School is required. (Form 1)
(4) Master's Program Official Grade Transcript	Required only for (prospective) Master's Degree holders. The transcript should be certified and the envelope sealed by the head of the graduate school last attended.
(5) Certificate of (prospective) Master's Degree	Required only for (prospective) Master's Degree holders. Certificate of Enrolment is available if the prospective one is not issued.
(6) 3 copies of both Master's Thesis and its Abstract, or 3 copies of equivalent Research Report	Master's Thesis may include those which, at the time of application, are under academic evaluation or are due to be evaluated. The abstract of the applicant's Master's thesis should be approximately 2,000 Japanese characters or 800 English words. Furthermore, an off-print or copy etc. that shows the announcement or abstract may be submitted in the case research results taking a form, other than a master's thesis, of a paper, or academic lecture etc. If not in possession of a Master's thesis, the applicant should submit a report on their previous research topic(s). This report should be approximately 8,000 Japanese characters or 3,200 English words. The form provided should be photocopied and used as the front pages of the Master's thesis, Master's thesis abstract, or Research Report. (Form 2)
(7) Research Proposal	The form provided by the Graduate School is required. (Form 3) Applicants should prepare and submit a research proposal, using the stipulated format, having discussed its content in advance, with their prospective research supervisor. An introduction to the staff of the Graduate School of East Asian Studies can be found at https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eas/en/information-for-prospective-students/index.html Please e-mail us at the address below for the contact details of academic staff. Graduate School of East Asian Studies Admission Office eastasia@yamaguchi-u.ac.jp
(8) Self-addressed envelope for returning your Examination Card	The envelope with the applicant's name, present address and zip code (no postage stamp required).
(9) Application Fee	¥30,000 (Japanese Yen). Please attach the receipt from the Japan Post Bank (post office) transfer certificate (for customer) [振替払込受付証明書 (お客さま用)] to the back of your Application Form, after filling all the relevant information in the Form and paying the fee at Japan Post Bank in account of Yamaguchi University. The fee will not be returned, once the Application Form is received, for any reason, except in cases of ①having paid, but not applied, ②having paid twice, or ③the application not accepted.
(10) Copies of Foreign Language Proficiency Certificate (if any)	Copies of any Language Proficiency Certificates, e.g. TOEIC/TOEFL scores, Certificates of the Japanese Language Proficiency Test (日本語能力試験) held by the candidate.
(11) Confirmation of your name and nationality	. Required only for international applicants. Please submit either (a) a copy of Resident Card, (b) a copy of your passport
(12) Confirmation of Japanese Government scholarship (国費外国人留学生証明書)	Required only for Japanese government scholarship students. The certificate issued by the educational institute to which you belong.

(13) Application Form for Special Arrangements for Working Students (教育方法特例適用申請書)*	<p>Required only for those hoping for Special Arrangements.</p> <p>*The Special Arrangement concerning Educational Methods (the 14th clause of Monbusho's Requirement for the Foundation of Graduate Schools): Special schooling methods are adopted in Graduate Schools, as necessary; lectures or supervisions may be given during the evening or at other specific periods.</p>
---	--

IV. Screening Procedure

The screening of applicants is based upon the evaluation of their Master's thesis/research report, interviews, examinations in foreign languages and specialized subjects, documents such as the official grade transcript. Examinations in foreign languages and specialized subjects are given in the manner described below.

1. **Thesis Tests**—Your Master's Thesis or Research Report are to be evaluated.
2. **Interview** is given to evaluate applicants' special fields of study, Master's thesis or research reports, and research proposals.
3. **Examination in Foreign Languages and Specialized Subjects**

After the evaluation of applicants' Master's theses or research reports, they will be notified as to whether it will be necessary for them to take examinations in foreign languages or special subjects.

V. Date and Place of Examination

1. Date of Examination:

1 st section	February 5 (Wed.), 2025 or February 26 (Thu.), 2024
2 nd section	July 2 (Wed.), 2025 or July 3 (Thu.), 2025

Your Examination Date will be given with your Examination Card.

2. Place of Examination: The Faculty of Economics, Yamaguchi University (1677-1, Yoshida, Yamaguchi-shi)

VI. Announcement of Examination Results and Admission Procedures

The results of screening will be given at the time and place specified below, and will also be mailed to successful applicants (but not to unsuccessful applicants). Inquiries by telephone will not be accepted.

1. Announcement

1 st section	March 5 (Wed.), 2025 12:00 (noon)
2 nd section	August 1 (Fri.), 2025 12:00 (noon)

Place: the hall of the Faculty of Economics, Yamaguchi University

Successful applicants' registration numbers will be shown at the Web site of the Graduate School of East Asian Studies.

<https://www.yamaguchi-u.ac.jp/eas/index.html>

2. Deadline of Admission Procedures

April Entrance	- March 14 (Fri.), 2025
October Entrance	- September 1 (Mon.), 2025

Detailed information will be sent to successful applicants.

VII. Further Information

1. Applicants with disabilities who need special arrangements for academic life at Yamaguchi University are advised to make inquiries in advance to the Graduate School of East Asian Studies (Faculty of Economics).

E-mail contact is also available: eastasia@yamaguchi-u.ac.jp

2. In the case that there should be any omissions or errors in the application documents, they may be rejected and returned along with all fees.

Application documents will not be returned and their contents cannot be changed after their submission.

Furthermore, any person making false statement in any application document may forfeit their right to admission even after formal admission has taken place.

3. Any person who does not complete the admission procedure within admission procedure period defined above will be assumed to have declined admission.

4. Fees to be paid on entering the Graduate School:

(1) Matriculation Fee: ¥282,000 (Subject to change, Payable at admission)

(2) Tuition Fee: ¥267,900 for the First Semester. (Subject to change, Payable at Entrance)

¥267,900 for the Second Semester. (Subject to change, Payable at the end of November)

Please Note:

- i) In case that the University decides to revise the Fees and Tuition for **2025** entrants after the publication of this document, the revised amounts will be applied. If the revision is made after the entrants finished the admission procedures, the difference in amount will have to be paid.
- ii) Payments of the tuitions while in the Graduate School of East Asian Studies will be made to the University via automatic withdrawals from the students' (or the guardians') accounts at the Post Office. The dates of transfer will be May 31 for the First Semester and November 30 for the Second. It is required to have enough amounts at the accounts by the day before each transfer.
- iii) As for the tuition, if the revision is made while a student is in the program, the new tuition amount will have to be paid.
- iv) It may be possible to have the Entrance Fee and/or Tuition (partially/ entirely) waived for those who are in economic difficulty. Inquiries should be directed to the Division of Student Support
: at the Student Support Center (Ph.: 083-933-5164 • 5165).

VIII. Certification of Applicants' Qualifications

(Applicants who apply the 2nd period shall refer to the schedule in parenthesis)

1. Certification relating to **II. Application Requirements 6**

"Are approved by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, Government of Japan." refers to graduates who have been engaged in research in universities and/or research facilities for at least two years after completing a bachelor's (or equivalent) degree. Eligible applicants for the Graduate School of East Asian Studies at Yamaguchi University are required to demonstrate by way of their research results that their academic abilities are on a par with those of Master's degree holders in their specialist research fields. Specifically, the applicants are required:

- a) To have been engaged in research for two or more years after graduating from university in education facilities, research institutes, etc.
- b) To have completed 16 years of school education in foreign countries.

2. Certification relating to **II. Application Requirements 7**

Applicants eligible for consideration as those who "Are approved (by individual certification process) by the Graduate School of East Asian Studies, Yamaguchi University, as having academic abilities equivalent to or higher than a master's degree or a professional degree, and will reach age of 24 by the end of March (September), **2025**, are graduates of equivalent educational institution in Japan or abroad, and have research achievements that are equivalent to or more valuable than a master's thesis in academic books (single-authored) and academic papers (single-authored)."

3.About admission qualification examination

- (1) The Graduate School of East Asian Studies will examine the course contents of the educational institutions that the applicants attended, and the content and quality of the applicants' business practices or research results in/at educational institutions, public offices, or companies, etc. after graduation (completion), and academic publications (single-authored). Applicants who are deemed to have academic ability equivalent to or higher than a master's degree or a professional degree will be admitted to the Graduate School of East Asian Studies.
- (2) Applicants who wish to be certified by this procedure should submit all the documents listed in VIII-4 the Graduate School of East Asian Studies (Faculty of Economics), Yamaguchi University. Deadline: **November 15 (Fri.), 2024 (April 5(Fri.).-2025).**
- (3) Applicants will be notified of the result of certification screening by **December 6 (Fri.), 2024 (April 25(Fri.), 2025).**

4. Documents necessary for the applications relating to **II. Application Requirements 6 and 7.**

Document	Details
(1) Application Form for Certification Screening	The form provided by the Graduate School is required. Form 4
(2) Curriculum Vitae/Résumé	The form provided by the Graduate School is required. Form 1
(3) Graduation Certificate	Issued and sealed by the head of the educational institution last attended.
(4) Official Grade Transcript	Issued and sealed by the head of the educational institution last attended.
(5) List of Research Achievements	Please use the form prescribed by the Graduate School (Form 5) and attach materials showing specific activities, such as academic books (single-authored) and academic papers (single-authored).
(6) Research Experience Certificate	Applicants should Indicate their research experience and have it certified by the heads of the educational or research institutes, and/or corporations they have worked for after finishing formal education. A4-sized paper sheets should be used.

There are certain documents such as application forms that new university entrants must submit to the Graduate School of East Asian Studies for admission. As regulated under Article 9 -2 of the Law about Protection of Personal Information any personal information collected will not be used for any other purpose by a third party without the applicants consent.

The Graduate School of East Asian Studies, Yamaguchi University

East Asia consists of countries or regions with various languages, cultures and religions, and possesses its own distinctive characteristics formed in the long course of history. Global changes of economic and social structures have sometimes reduced regional differences, but on occasion have accentuated them, which has caused friction. In particular, the economic and political turmoil in the East Asian nations which originated in financial friction in the late 1990s, has brought up a lot of social and economic issues. Understanding how the state of affairs in East Asia influences the world situation is a vital key to forecasting the future of mankind.

The Graduate School of East Asian Studies aims to train students to be talented and leading professionals who will be able to exhibit expertise in solving various problems from a broad range of perspectives. The students' understanding of the regional characteristics of East Asia will be supported by a suitable geographical environment and by the accumulated research traditions and varied international exchanges of Yamaguchi University.

Features of the Graduate School of East Asian Studies

- *Four divisions depending on the individual student's research project and his/her future career intentions after the completion of the course*

COURSES	AIMS	CAREER PROSPECTS
Asian Comparative Culture Course	Graduates who understand the own and other cultures comparatively and sympathetically on history, culture and societies in Asia.	government officers, university faculty and high school teacher, researcher in research institute, language teacher, translator & interpreter, journalist, museum curator & research staff, staff in international agency, NGO staff, corporate manager, corporate strategy planner
Asian Economy, Management and Law Course	Graduates who have deep understanding of regional characteristics and social economy of Asia, who are equipped with strong and flexible analytical power with deep knowledge of specialty, and who are devoted to realistic problem solving.	
Asian Education Course	Graduates who recognize educational issues and engage in theoretical and empirical research for solution, through the research and educational exchanges in Asia.	

- *Seminar-based curricula supported by two or more supervisors per student*

In each division of the Graduate School of East Asian Studies, students are encouraged to develop their problem-solving abilities, mainly through seminars which provide training for practical applications of these abilities. Courses offered include:

Basic Seminars

joint seminars directed by a group of supervisors specializing in the research fields concerned; designed to equip students with diverse approaches to the issues of interest.

Project Seminars

seminars held in a workshop style with two or more supervisors.

Special Lectures

lectures which complement the Project Seminars; various field-researches and case studies are involved.

Dissertation Supervisions

professors provide individual students with practical advice and insights to support them toward the completion of their dissertations.

Each student gets attentive care and supervision on their research and training from his/her chief-advisor plus sub-advisor(s). Students are required periodically to make progress reports in the **Project Seminars** according to their research schedules. They are regularly given instruction and advice to develop their abilities and knowledge sufficient to conduct their researches successfully.

- *Guarantee of foreign language proficiency*

It is indispensable to be competent in the languages used in the regions if one wishes to be actively involved in the East Asian academic or business scenes. Therefore, to those who need additional language training, the Graduate School of East Asian Studies offers classes of communication skills in Japanese and/or the student's language of emphasis.

Requirement for the Degree

In order to complete the degree at the GSEAS, it is required that the student earn the specified minimum number of credits in good standing during the three years (excluding non-registered period) of residency, and that the dissertation draft be approved on the Preliminary Examination and satisfy the rigorous standard of the Final Examination.

As for the period of residency, in case of special approval of the GSEAS that her/his research achievement has shown exceptionally high standard, one year residency at least is required.

The degree granted at the GSEAS will be doctor of philosophy.

1. Credits Earned

Credits requirement is the minimum 13 including the followings:

Dissertation Supervisions	: 6 Credits
Researcher Ethics	: 1 Credit
Basic Seminars	: 2 Credits
Project Seminars	: 2 Credits
Special Lectures	: 2 Credits

2. Doctoral Dissertation

Student who would want to take the Final Examination for the degree after the application for and the approval of the Preliminary Examination has to submit the application form for the degree.

In order to apply for the Preliminary Examination, it is required that:

- (1) The Dissertation Proposal be turned in and be approved by the GSEAS at the student's second year (in principle), and
- (2) The Preliminary Dissertation Report be done which will be held twice a year, after the approval of the Dissertation Proposal.

東アジア研究科教員専攻分野と研究テーマ一覧 Staff members and Research Area and Topics

履修コース Course of study	氏 名 (Name)	専攻分野・研究テーマ (Research Area and Topics)
アジア比較文化 コース Asian Comparative Culture Course	上 田 由 紀 子 UEDA Yukiko	言語学：比較統語論 Linguistics: Japanese Syntax in Comparative Perspective
	尾 崎 千 佳 OZAKI Chika	日本近世文学：連歌俳諧史 Japanese Early Modern Literature：Linked verse history
	柏 木 寧 子 KASHIWAGI Yasuko	日本倫理学, 日本倫理思想史：日本中世における信仰・文芸の倫理思想 Japanese Ethics, History of Ethical Thought in Japan：Ethical Thought in Religious and Literary Texts in Medieval Japan
	小 林 宏 至 KOBAYASHI Hiroshi	社会人類学：中国客家社会における民間建築と親族組織 Social Anthropology: Kinship System and Vernacular Architecture in Hakka Society in China
	更 科 慎 一 SARASHINA Shinichi	中国語学：中国語音韻学, 多言語対訳文献の研究 Chinese Linguistics：Historical Phonology of Chinese, Study of multilingual materials
	高 橋 征 仁 TAKAHASHI Masahito	社会心理学・教育社会学：青年と青年文化に関する研究 Social Psychology/ Sociology of Education：Adolescents and Youth Culture
	富 平 美 波 TOMIHIRA Miwa	中国語学：中国語音韻学, 中国語学史 Chinese Linguistics：Historical Phonology of Chinese, History of Chinese Linguistics
	速 水 聖 子 HAYAMI Seiko	地域社会学・福祉社会学：コミュニティと社会的支援に関する研究 Sociology of Community and Region, Sociology of Welfare：Community System as Social Support
	森 野 正 弘 MORINO Masahiro	日本古代文学：平安文学における表現構造の研究 Japanese Ancient Literature：A Study of Expression Structure in Japanese Ancient Literature
	谷 部 真 吾 YABE Shingo	民俗学：日本における儀礼・祭礼研究 Folklore: Study of Ritual and Festival in Japan
	和 田 学 WADA Manabu	言語学：日本語・韓国語の文法の対照研究 Linguistics: Contrastive Study on Japanese & Korean Grammar
アジア経済・ 経営・法律 コース Asian Economy, Management and Law Course	朝 水 宗 彦 ASAMIZU Munehiko	人的移動：観光, 移住 Human Mobility：Tourism, Migration
	有 村 貞 則 ARIMURA Sadanori	国際経営：ダイバーシティ・マネジメント International Business Management: Diversity Management
	古 賀 大 介 KOGA Daisuke	経済史：国際金融史・戦時銀行史 Economic History ：History of International Finance and Wartime Banking
	小 林 友 則 KOBAYASHI Tomonori	民法：契約責任 Civil Law: Contract Liability
	齋 藤 英 智 SAITO Hidetomo	地域経済学：産業連関分析, 地域政策 Regional Economics：Input-Output Analysis, Regional Policy
	新 祖 隆 志 郎 SHINSO Takashiro	会計学：財務会計論, 銀行会計論 Accounting: Financial Accounting, Bank Accounting
	石 龍 潭 SHI Longtan	行政法：第三セクター The Administrative Law：The Third Sector
	田 畑 雄 紀 TABATA Yuki	社会保障論：医療保障制度 Social Security: Health Care System
	角 田 由 佳 TSUNODA Yuka	医療経済学：看護の経済論 Health Care Economics：Economic Analysis of Nursing
	寺 地 伸 二 TERAJI Shinji	理論経済学：制度の経済学、行動経済学 Theoretical Economics：Institutional Economics, Behavioral Economics

東アジア研究科教員専攻分野と研究テーマ一覧 Staff members and Research Area and Topics

履修コース Course of study	氏 名 (Name)	専攻分野・研究テーマ (Research Area and Topics)
アジア経済・経営・法律 コース Asian Economy, Management and Law Course	濱 島 清 史 HAMASHIMA Kiyoshi	社会政策論と労働経済論 : 東アジアの社会政策, 日本の雇用慣行とキャリア形成, 若年雇用問題 Social Policy and Labour Economics : Social Policy in East Asia, The Japanese Employment System and the Career Development, Issue of Youth Employment
	八 代 拓 YASHIRO Taku	国際政治学: 国際関係史、日本外交史、東南アジア政治外交 International Politics: History of International Relations, Diplomatic History of Post-war Japan, Southeast Asian Political Diplomacy
	山 本 勝 也 YAMAMOTO Katsuya	開発経済学: 経済開発における公共性, 途上国における水セクター改革 Development Economics: publicness in economic development, water sector reform in developing countries
	渡 邊 幹 雄 WATANABE Mikio	政治学 : 政治思想, 政治理論 Political Science : Political Thought, Political Theory
アジア教育開発 コース Asian Educational System Development Course	△ 有 元 光 彦 ARIMOTO Mitsuhiro	言語学 : 音韻論, 方言論, 談話論, 社会言語学 Linguistics : Phonology, Dialectology, Discourse analysis, Sociolinguistics
	△ 石 井 由 理 ISHII Yuri	比較教育学 : 学校教育カリキュラム政策における国際理解教育 Comparative Education : Education for International Understanding in School Curriculum Policy
	△ 葛 Qi-Wei 崎 偉 GE Qi-Wei	情報科学 : ネット理論とその応用, スケジューリング, 公開鍵暗号 Computer Science : Net Theory and Its Applications, Scheduling, Public-Key Cryptography
	北 沢 千 里 KITAZAWA Chisato	進化発生生物学 : 棘皮動物の発生生物学 Evolution and Development : Developmental biology of Echinoderms
	佐 々 木 司 SASAKI Tsukasa	教育制度学 : 教育行政学, 教育法 Educational Systems : Educational Administration, Educational Laws and Regulations
	鷹 岡 亮 TAKAOKA Ryo	教育工学: 学習支援システム, 情報教育 Educational Technology: e-Learning, Information and Communication Technology in Education
	△ 高 橋 俊 章 TAKAHASHI Toshiaki	応用言語学: 文法指導, 言語習得, 英語教育 Applied Linguistics : Grammar Instruction, Language Acquisition, English Language Education
	中 田 充 NAKATA Mitsuru	情報工学: データベースシステム, 情報システムとその応用 Information Science: Database System, Information System and Its Applications.
	松 岡 勝 彦 MATSUOKA Katsuhiko	応用行動分析学 : コミュニティ行動分析, 行動コンサルテーション Applied Behavior Analysis : Community Behavior Analysis, Behavioral Consultation
	森 下 徹 MORISHITA Toru	日本近世史 : 労働史, 身分論 History of Early Modern Japan : Labor History, Theory of Social Status
	森 朋 也 MORI Tomoya	環境経済学: コモンズ論、持続可能な開発、環境教育 Environmental Economics: The Study of the Commons, Sustainable Development, Environmental Education
	山 本 冴 里 YAMAMOTO Saeri	日本語教育・複言語教育: 日本語教育政策, 単一言語環境における複言語教育の環境づくり Japanese Language Education, Plurilingual Education: Japanese language education policies, The development and practice of plurilingual education in the monolingual context
	△ 山 本 孟 YAMAMOTO Hajime	古代近東史: 古代アナトリア, 政治外交史, 宗教 History of Ancient Near East: Ancient Anatolia, Hisotory of Politics and Diplomacy, Religion

(五十音順)

注) ・△印を付してある教員は、主指導教員として希望することはできません。
・Faculty members marked with △ will not accept new students.